安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	42-7905-5	**版**	2.00
発行日	2024/12/16	**前発行日**	2022/06/28

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M(TM) Scotch-Weld(TM) 二液混合型エポキシ接着剤 DP410 オフホワイト

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

本製品は個々に包装された複数の構成品からなるキット製品である。SDSには個々の構成品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。　この製品を構成する製品のSDS番号は：

42-7068-2, 07-7184-0

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	42-7068-2	**版**	3.00
発行日	2024/12/16	**前発行日**	2023/03/06

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M(TM) Scotch-Weld(TM) 二液混合型エポキシ接着剤 DP410 オフホワイト PartB

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
工業用途

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分２Ａ
皮膚腐食性/刺激性： 区分２
皮膚感作性： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分２
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分２

GHSラベル要素
注意喚起語
警告

シンボル
感嘆符　環境

ピクトグラム

危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P391	漏出物を回収すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	1675-54-3	72
アクリルコポリマー	営業秘密	＜ 15
ビスフェノールAとエピクロロヒドリン及びブトキシメチルオキシランとの重合物	29407-84-9	7 － 13
疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	1 － 2
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	2530-83-8	1.2
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾ	128-37-0	0.10

ール		

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管
熱から離して保管する。　酸から離して保管する。　酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
２，６－ジーｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	128-37-0	ACGIH	TWA（吸入性分画および蒸気）：2mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
２，６－ジーｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	128-37-0	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間):10 mg/m3	25℃1気圧空気中

ACGIH ： American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA ： American Industrial Hygiene Association
ISHL ： 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) ： 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs ： 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
色	白～ベージュ
臭い	エポキシ
臭いの閾値	*データはない。*
ｐＨ	*データはない。*
融点・凝固点	*データはない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	>=200 ℃
引火点	引火点>93℃［*試験方法：クローズドカップ法*］
蒸発速度	*適用しない*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*適用しない*

燃焼点（上限）	*適用しない*
蒸気圧	*適用しない*
相対蒸気密度	*適用しない*
密度	1.15 g/cm3
比重	1.11 - 1.15
溶解度	*データはない。*
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	*データはない。*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、５０ｇ以上のレジンを一度に硬化させないこと。

混触危険物質
強酸
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合
皮膚刺激：　発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
アクリルコポリマー	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
アクリルコポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ビスフェノールAとエピクロロヒドリン及びブトキシメチルオキシランとの重合物	経口摂取	類似化合物	LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
疎水性二酸化ケイ素	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
疎水性二酸化ケイ素	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	皮膚	ウサギ	LD50　4,000 mg/kg
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 5.3 mg/l
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	経口摂取	ラット	LD50　7,010 mg/kg
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	経口摂取	ラット	LD50 > 2,930 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	ウサギ	軽度の刺激
ビスフェノールAとエピクロロヒドリン及びブトキシメチルオキシランとの重合物	専門家による判断	刺激物
疎水性二酸化ケイ素	ウサギ	刺激性なし
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	ウサギ	軽度の刺激
２，６－ジー ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	ヒト及び動物	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	ウサギ	中程度の刺激
ビスフェノールAとエピクロロヒドリン及びブトキシメチルオキシランとの重合物	専門家による判断	激しい刺激
疎水性二酸化ケイ素	ウサギ	刺激性なし
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	ウサギ	腐食性
２，６－ジー ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	ヒト及び動物	感作性あり
ビスフェノールAとエピクロロヒドリン及びブトキシメチルオキシランとの重合物	専門家による判断	感作性あり
疎水性二酸化ケイ素	ヒト及び動物	区分に該当しない。
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	モルモット	区分に該当しない。
２，６－ジー ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	ヒト	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	In vivo	変異原性なし
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
疎水性二酸化ケイ素	In vitro	変異原性なし
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
２，６－ジー ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	In vitro	変異原性なし
２，６－ジー ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
疎水性二酸化ケイ素	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	皮膚	マウス	発がん性なし
２，６－ジー ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/日	器官発生期
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	1 世代
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	1 世代
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3,000 mg/kg/日	器官発生期
２，６－ジー ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	2 世代
２，６－ジー ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	2 世代
２，６－ジー ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	2 世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビスフェノールAとエピクロロヒドリン及びブトキシメチルオキシランとの重合物	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	皮膚	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週

ビスフェノールＡグリシジルエーテル	経口摂取	聴覚系 ｜ 心臓 ｜ 内分泌系 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 眼 ｜ 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
疎水性二酸化ケイ素	吸入した場合	呼吸器系 ｜ 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	経口摂取	心臓 ｜ 内分泌系 ｜ 骨、歯、爪及び/又は毛髪 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 免疫システム ｜ 神経系 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 250 mg/kg/day	28 日
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	2 世代
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	経口摂取	血液	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 420 mg/kg/day	40 日
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 25 mg/kg/day	2 世代
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3,480 mg/kg/day	10 週

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分２：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分２：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
アクリルコポリマー	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できな	該当なし	該当なし	該当なし

			い、あるいは不足している。			
ビスフェノールAとエピクロロヒドリン及びブトキシメチルオキシランとの重合物	29407-84-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	128-37-0	液状化	実験	3 時間	EC50	>10,000 mg/l
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	128-37-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>0.4 mg/l
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	128-37-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.48 mg/l
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	128-37-0	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	128-37-0	緑藻類	実験	72 時間	EC10	0.4 mg/l
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	128-37-0	メダカ	実験	42 日	NOEC	0.053 mg/l
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	128-37-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.023 mg/l
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	2530-83-8	鯉	実験	96 時間	LC50	55 mg/l
3-トリメトキシシリルプロ	2530-83-8	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	350 mg/l

ピルグリシジルエーテル						
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	2530-83-8	無脊椎動物	実験	48 時間	LC50	324 mg/l
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	2530-83-8	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	130 mg/l
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	2530-83-8	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	2530-83-8	液状化	実験	3 時間	EC50	>100 mg/l
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	1675-54-3	液状化	推定値	3 時間	IC50	>100 mg/l
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	1675-54-3	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2 mg/l
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	1675-54-3	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	1.8 mg/l
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	1675-54-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>11 mg/l
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	1675-54-3	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	4.2 mg/l
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	1675-54-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.3 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリルコポリマー	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ビスフェノールAとエピクロロヒドリン及びブトキシメチルオキシランとの重合物	29407-84-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	128-37-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	2530-83-8	実験 生分解性	28 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	37 DOC除去%	EC C.4.A. DOC Die-Away試験
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	2530-83-8	実験 加水分解		加水分解性半減期（pH7）	6.5 時間（t 1/2）	OECD 111 pHに応じた加水分解
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	1675-54-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	5 %BOD/COD	OECD 301F
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	1675-54-3	実験 加水分解		加水分解性半減期	117 時間（t 1/2）	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリルコポリマー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ビスフェノールAとエピクロロヒドリン及びブトキシメチルオキシランとの重合物	29407-84-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
２，６－ジ－ｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	128-37-0	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	1277	OECD305-生体濃縮度試験
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	2530-83-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.5	EPI suite™

ビスフェノールＡグリシジルエーテル	1675-54-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	3.242	

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名：　３０８２　環境有害物質（液体）

輸送分類（IMO）：9　その他の有害性物質

輸送分類（IATA）：9　その他の有害性物質

容器等級：III

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達　基発第３１２号の３の別添１「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」
労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達　基準第１８２号の２
化管法：第１種指定化学物質
消防法：第四類第三石油類
船舶安全法、航空法：有害性物質
海洋汚染防止法：環境有害物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
２，６－ジーｔ－ブチル－ｐ－クレゾール	２，６―ジ―ターシャリ―ブチル―４―クレゾール	該当	該当	該当
ビスフェノールＡグリシジルエーテル	2,2-ビス[4-(オキシラン-2-イルメトキシ)フェニル]プロパン	適用しない	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
3-トリメトキシシリルプロピルグリシジルエーテル	トリメトキシ-[3-(オキシラン-2-イルメトキシ)プロピル] シラン	693	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報
セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション９：特性 情報の削除.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.
セクション１５：化管法の表 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３Mジャパングループの**SDS**は日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	07-7184-0	**版**	7.01
発行日	2024/09/02	**前発行日**	2024/07/05

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ Scotch-Weld™ 二液混合型エポキシ接着剤 DP410 オフホワイト Part A

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
構造用接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類
急性毒性（経口）： 区分４
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分１
皮膚腐食性/刺激性： 区分１Ｂ
皮膚感作性： 区分１
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分１

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
腐食性　感嘆符　健康有害性

ピクトグラム

危険有害性情報

H302	飲み込むと有害
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H370	臓器の障害： 血液ないし造血組織。

注意書き

安全対策

P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P280D	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい状態を確保すること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P301 + P330 + P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P308 + P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。

保管

P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。　胃腸への腐食のおそれ。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	4246-51-9	30 - 70
アミン末端付加物	営業秘密	10 - 30
硝酸カルシウム・四水和物	13477-34-4	7 - 13
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	9.2
ビス（ジメチルアミノメチル）フェノール	71074-89-0	< 5

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。付着した衣類は脱ぐ。直ちに医療機関を受診する。衣類は再使用する前に洗濯する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。無理に吐かせない。直ちに医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

皮膚の熱傷（局所的な発赤、腫れ、かゆみ、激しい痛み、水疱、組織破壊）。 アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。 眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。 標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
本製品の高濃度ばく露によってメトヘモグロビン血症が発生する可能性がある。この製品への過度の曝露は、メトヘモグロビン血症を引き起こす可能性があります。メトヘモグロビン血症は、正常なPa02（動脈血ガスによって得られる）の存在下での「チアノーゼ」によって臨床的に疑われる可能性があります。パルスオキシメーターは、メトヘモグロビン血症の存在下で酸素飽和度を監視するには不正確である可能性があるため、この障害の診断には使用しないでください。患者に症候性がある場合、またはメトヘモグロビンレベルが20%を超える場合は、医学的管理の一環としてメチレンブルーによる特定の治療を検討する必要があります。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
アルデヒド	燃焼中
アミン化合物	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
塩化水素	燃焼中
窒素酸化物	燃焼中

消火作業者の保護
火災が激しく、本品の熱分解が起こる可能性がある場合は、ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　残さを清掃する。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管
熱から離して保管する。　酸から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策

設備対策
熱処理オーブンの排気は屋外又は排気設備に放出すること。　空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
全面マスク
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。
推奨される手袋の材質： ブチルゴム
ネオプレン
ニトリルゴム

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ブチルゴム製エプロン
ネオプレン製エプロン
二トリル製エプロン

呼吸用保護具

換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること。
ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状態:	チキソトロピー性ペースト
色	オフホワイト。
臭い	アミン
臭いの閾値	*データはない。*
ｐＨ	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*適用しない*

引火点	>=100 °C［*試験方法：*クローズドカップ法］
蒸発速度	*適用しない*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*適用しない*
燃焼点（上限）	*適用しない*
蒸気圧	*適用しない*
蒸気密度/相対蒸気密度	*適用しない*
密度	1.09 - 1.12 g/ml
比重	1.09 - 1.12 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	無視できるレベル。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*適用しない*
分解温度	*データはない。*
動粘度	*データはない。*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	<=1 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	0 g/l［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*製品として］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	0 g/l［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*Part Bとの使用時］

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、５０ｇ以上のレジンを一度に硬化させないこと。

混触危険物質
強酸

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合
皮膚に接触すると有害のおそれ。　皮膚薬傷（化学性腐食）： 発赤、腫脹、かゆみ、痛み、水疱形成、潰瘍形成、か皮形成、瘢痕形成などの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合
飲み込むと有害　胃腸への腐食作用： 口、喉、腹部の激しい痛み、吐き気、むかつき、下痢、血便、嘔吐などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露
メトヘモグロビン血症： 頭痛、めまい、吐気、呼吸困難、全身衰弱などの症状。

追加情報
アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000

			- =5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >300 - =2,000 mg/kg
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	皮膚	ウサギ	LD50 2,525 mg/kg
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	経口摂取	ラット	LD50 2,850 mg/kg
硝酸カルシウム・四水和物	経口摂取	ラット	LD50 >300, <2000 mg/kg
硝酸カルシウム・四水和物	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	皮膚	ラット	LD50 1,280 mg/kg
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	経口摂取	ラット	LD50 1,000 mg/kg
ビス（ジメチルアミノメチル）フェノール	経口摂取		LD50 推定値 300 - 2,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	ウサギ	腐食性
硝酸カルシウム・四水和物	類似化合物	刺激性なし
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	ウサギ	腐食性
ビス（ジメチルアミノメチル）フェノール	類似化合物	腐食性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	ウサギ	腐食性
硝酸カルシウム・四水和物	ウサギ	腐食性
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	ウサギ	腐食性
ビス（ジメチルアミノメチル）フェノール	類似化合物	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	専門家による判断	感作性あり
硝酸カルシウム・四水和物	類似化合物	区分に該当しない。
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	In vitro	変異原性なし

硝酸カルシウム・四水和物	In vitro	変異原性なし
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	In vitro	変異原性なし

発がん性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	授乳期早期交配
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	59 日
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	授乳期早期交配
硝酸カルシウム・四水和物	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	類似化合物	NOAEL 1,500 mg/kg/日	授乳期早期交配
硝酸カルシウム・四水和物	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	類似化合物	NOAEL 1,500 mg/kg/日	28 日
硝酸カルシウム・四水和物	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	類似化合物	NOAEL 1,500 mg/kg/日	授乳期早期交配
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	2 世代
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 50 mg/kg/日	2 世代
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 15 mg/kg/日	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
硝酸カルシウム・四水和物	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
硝酸カルシウム・四水和物	経口摂取	メトヘモグロビン血症	臓器への影響	ヒト	NOAEL 入手できない	環境暴露。
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	経口摂取	消化管 ｜ 心臓 ｜ 内分泌系 ｜ 骨、歯、爪及び/又は毛髪 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 免疫システム ｜ 筋肉 ｜ 神経系 ｜ 眼 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 呼吸器系 ｜ 脈管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	59 日

		系				
硝酸カルシウム・四水和物	経口摂取	心臓 | 皮膚 | 内分泌系 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 神経系 | 眼 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系 | 脈管系	区分に該当しない。	類似化合物	NOAEL 1,500 mg/kg/day	28 日
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	皮膚	皮膚	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 25 mg/kg/day	4 週
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	皮膚	肝臓 | 神経系 | 聴覚系 | 造血器系 | 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 125 mg/kg/day	4 週
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	経口摂取	心臓 | 内分泌系 | 造血器系 | 肝臓 | 筋肉 | 神経系 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系 | 脈管系 | 聴覚系 | 皮膚 | 消化管 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 免疫システム | 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/day	90 日

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）
GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果

ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	4246-51-9	バクテリア	実験	17 時間	EC50	4,000 mg/l
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	4246-51-9	ゴールデンオルフェ（鯉）	実験	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	4246-51-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>500 mg/l
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	4246-51-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	218.16 mg/l
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	4246-51-9	緑藻類	実験	72 時間	EC10	5.4 mg/l
アミン末端付加物	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
硝酸カルシウム・四水和物	13477-34-4	グッピー	推定値	96 時間	LC50	1,378 mg/l
硝酸カルシウム・四水和物	13477-34-4	ファットヘッドミノウ（魚）	推定値	30 日	NOEC	58 mg/l
ビス（ジメチルアミノメチル）フェノール	71074-89-0	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	データなし
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	該当なし	実験	96 時間	LC50	718 mg/l
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フ	90-72-2	鯉	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l

ェノール						
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	46.7 mg/l
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	6.44 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	4246-51-9	実験 生分解性	25 日	二酸化炭素の発生	-8 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
ジエチレングリコールビス（３－アミノプロピル）エーテル	4246-51-9	推定値 光分解		光分解半減期（空気中）	2.96 時間（t 1/2）	
アミン末端付加物	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
硝酸カルシウム・四水和物	13477-34-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ビス（ジメチルアミノメチル）フェノール	71074-89-0	モデル 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	41 CO2発生量/理論CO2発生量%	Catalogic™
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	4 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ジエチレングリコールビス	4246-51-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係	-1.25	

（３－アミノプロピル）エーテル				数		
アミン末端付加物	営業秘密	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.9	
硝酸カルシウム・四水和物	13477-34-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ビス（ジメチルアミノメチル）フェノール	71074-89-0	モデル 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-2.34	ACD/Labs ChemSketch™
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.66	830.7550 Part.Coef Shake Flask

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： ３２６３ その他の腐食性物質(固体)(アルカリ性のもの)(有機物)

輸送分類（IMO）：8 腐食性物質

輸送分類（IATA）：8 腐食性物質

容器等級：Ⅱ

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達　基発第３１２号の３の別添１「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」
労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達　基準第１８２号の２
地方労働局長宛て通達　エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について　昭和57年6月8日基発第339号
船舶安全法、航空法：腐しょく性物質
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
消防法：指定可燃物（可燃性固体類）

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール	適用しない	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報
セクション３：成分表 情報修正.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。